

2024年度事業計画及び予算について

I. 基本方針

1. 入学者の確保に向け、全教職員が一丸となり、スピード感をもって、あらゆる対策を実施する。
2. 「第3次中長期経営計画」に基づき、各プロジェクトの体制を整え、効果的な施策を実施する。
3. システムリプレイスを活かして、職場環境の改善と業務の合理化を図る。

II. 事業計画(2024年度新規事項:波線)

1. 重点実施事項

◇強化する取組

① 学生募集

- ・学生募集戦略の策定、実行力強化。
- ・企画広報課(新設)／教育連携推進室との連携強化による施策推進。
- ・新たなオープンキャンパスの形態を提案。

② 経営企画力強化(スピード感と一体感の醸成)

- ・経営企画本部(新設)で学内アイデアを集約し、スピード感と一体感のある推進体制と施策の提案。
- ・必要なリソースの確保

◇運営及び予算に関する簡素化・効率化の取組

- ・業務の簡素化、DX導入による効率化の検討提案。
- ・収入減を踏まえ、経費縮減方策を検討し、全員で取り組む。

2. 教育に関する事項

◇教育の質向上に向けた取組み

- ・新カリキュラムの実施状況の検証と改善
- ・主専攻・副専攻の実施と検証
- ・ポータルシステム(学生と教職員の相互ツール)による情報共有の促進
- ・学生の意見を教育改善へ取り入れる取り組みの実施(意見交換会、アンケート)
- ・数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)申請
- ・課程制移行及び新課程導入に向けて、準備を進める。

◇FD(Faculty Development)・SD(Staff Development)推進委員会によるFD・SD・FSDの推進

- ・授業アンケートや授業の相互見学の改善
- ・先進事例や社会と制度の変革にかかる研修等を共有し、授業の改善を促進
- ・ICT活用・遠隔授業の改善

◇退学者対策部会による休退学者低減に向けた取組み

- ・ホームルームを活用した修得単位不足の学生の早期指導
- ・留年者のフォロー
- ・フェーズゲート運用の検証
- ・学生課、教務課、ふれあいルームとの連携強化
- ・IRデータ分析に基づく実効性の高い仕組みの構築
- ・入学前教育の実施および検証

- ◇ 教養教育センターの運営
 - ・教養科目の振り返りと改善
 - ・専門科目との連携(Fゼミほか)
 - ・論文校閲など大学院生を支援
 - ・入学前教育の実施
 - ・社会人教育講座の実施
 - ・データサイエンス関連事業(データリテラシー・AI基礎)の実施
 - ・渋谷 QWS を利用したものづくり大学の新しい教育・広報拠点の検証
 - ・留学生の日本語教育(留学生日本語 I)および就職支援の実施

- ◇ 情報メカトロニクス学科の運営
 - ・新カリキュラムの検証および改善
 - ・新規設備による特色ある授業の継続実施
 - ・学生の成果発表の場の充実
 - ・情報系学生プロジェクトの立ち上げ支援および既存プロジェクトの支援拡充

- ◇ 建設学科の運営
 - ・新カリキュラムの効果を把握し、コースや科目の在り方を検証
 - ・学生の取組みにかかる情報発信の促進
 - ・各種競技会への参加、技能五輪への派遣など、特別教育活動の強化推進
 - ・クラウドファンディングの実施

- ◇ 大学院の運営
 - ・学内進学者の確保
 - ・成長分野における即戦力人材輩出に向け、リカレント教育のコンテンツを検討

- ◇ インターンシップの実施
 - ・学生の希望に沿った受入先の新規開拓(特に、情報メカトロニクス学科向けを強化)
 - ・県内企業を中心とした受入先の拡充
 - ・埼玉県経営者協会や各種団体等と連携し、情報交換の機会を拡大

- ◇ 高大連携事業(教育連携推進室)
 - ・埼玉県教育委員会主催事業への協力と関東甲信越圏内高校との連携事業を推進
 - ・教育連携協定高校連絡会議(仮称)および連携講師連絡会議(仮称)の実施
 - ・入試課と連携し、高大連携事業冊子を作成

3. 学生募集および入学試験に関する事項

- ◇ 学生募集戦略の策定、実行、評価
 - ・受験生が直接大学を見る機会やイベント(オープンキャンパス、進学相談会、大学見学会ほか)の充実と参加者へのフォロー強化
 - ・オープンキャンパスの充実(学生スタッフ研修会の強化、LINE と連携したマネジメントシステムの導入、キャンパスツアーおよび体験模擬授業の充実、タイムスケジュールの見直しなど)

- ・受験生に直接説明する機会やイベント(校内説明会、会場ガイダンス、資料頒布会ほか)の充実
- ・非接触の受験生への広報拡充(SNS、WEB媒体の拡大ほか)
- ・教育連携推進室との協働(教育連携協定締結校対象の施策の充実、連携強化、パンフレットなど)
- ・女子学生確保に向けた対策(女子学生スタッフの活用、ガールズノート、実習体験教室、女子スカラシップ入試、母校訪問支援、高校生デザインコンテストなど)
- ・留学生確保に向けた対策(日本語学校フォロー、経済的支援、留学生WEBサイトの活用など)

◇ 入試制度改革の推進

- ・入学試験の改善(新入試の導入、既存入試の廃止、試験日程の変更、地方入試会場の継続など)
- ・年内入試の充実およびPR(スカラシップ特待生入試の導入、推薦入試や推薦スカラシップ入試のPRなど)
- ・WEB出願の実施
- ・入学検定料優遇制度の改善(オープンキャンパス参加者の検定料減免制度の導入、共通テスト利用入試の検定料免除制度の廃止、学内併願および私費外国人留学生の検定料優遇制度の継続)
- ・高専からの編入学受入れの促進(高専特待生入試のPR、出願期間の拡大など)

4. 学生生活指導に関する事項

◇ 学生の心身の健康管理体制の充実

- ・長期休み明けにアンケート調査を実施し、学生支援を強化
- ・障害のある学生への支援

◇ 留学生支援

- ・対面式在籍管理(月1回)の実施
- ・日本語向上に向けたサポートプログラムの実施
- ・マンツーマン体制のチューター配置
- ・在留期間更新等の申請取次業務を大学がオンライン手続きで実施
- ・他部署との連携による総合サポートの実施
- ・留学生の就職に係る在留資格変更手続き等のサポートを実施

◇ 学生の安全管理

- ・学内外の安全対策および法令遵守教育等の指導(緊急時訓練ほか)
- ・不測の事態に備える保険加入の促進

◇ 学生への経済支援

- ・メールやWEBサイトを活用し、奨学金情報の提供を推進
- ・日本学生支援機構奨学金の説明会を実施、併せて返還指導を徹底
- ・独自奨学金の募集を年1回実施
(独自奨学金: 創立10周年記念ものづくり大学生生活支援奨学金、ものづくり大学奨学金、ものづくり大学さくら奨学金、ものづくり大学同窓会奨学金、総合資格学院奨学金等)

◇ 課外活動の支援

- ・学生の自主的活動である各種クラブ・サークル団体への補助金給付
- ・地域に開かれた学園祭の実施を支援

- ◇ その他学生支援
 - ・国民年金保険料の学生納付特例制度の申請手続き代行業務の実施
 - ・他大学との情報交換・情報収集による学生支援業務の充実

5. 学生の就職対策に関する事項

- ◇ キャリア育成
 - ・大学生生活の中でのキャリアアップや将来像の創造への早期取組みを指導
 - ・キャリアプランノート(第3版)を活用した学生の学習意欲の醸成と社会人基礎力の向上
 - ・社会情勢に沿った社会人基礎力育成講座の充実
 - ・企業研究交流会や合同企業説明会、OB・OG交流会の実施
 - ・地元企業との連携による企業訪問や見学バスツアーを実施

- ◇ 就職支援体制
 - ・学生のニーズに合った就職先との関係構築、開拓
 - ・対面とオンラインを併用したキャリアカウンセリングの実施
 - ・各研究室教員による就職指導と学生課による就職支援活動の連携強化
 - ・保護者向け就職ガイダンスの実施

- ◇ 就職活動支援
 - ・個別支援を強化するための仕組みの構築
 - ・主要企業志望学生向け勉強会の実施
 - ・就職力強化合宿の開催と支援内容の検証
 - ・SPI 強化対策講座の充実

6. 国際・地域交流事業および社会貢献に関する事項

- ◇ 国際交流事業
 - ・交換留学プログラム再開に向けた現地受入企業の確保・調整
 - ・交換留学プログラム再開に向けたプログラムの再構築

- ◇ 地域等交流事業
 - ・地域との共催公開講座の実施内容など連携方針の見直し
 - ・地域連携推進・渉外室を中心に、地域の自治体等と締結した連携協定に基づく事業を実施
(ものづくり教室、子ども大学、公開講座)
 - ・彩北未来PROJECTおよび三大学連携事業(学園祭ブース出展、合同研究発表会、子ども大学の相互協力など)の実施
 - ・私立大学等改革総合支援事業タイプ3 獲得に向けての取り組み
 - ・「ものづくり大学埼玉県地域連絡協議会」の実施
 - ・「ものづくり大学教育研究推進連絡協議会」の実施

- ◇ 社会人教育事業
 - ・産業界のニーズに対応した新たな社会人教育プログラムの開講(ロボット SI 人材育成講座、ドラッカー経営研究会等)

- ・企業や団体の研修受入れ
- ・企業ニーズを把握するためのヒアリングの実施

7. 図書館・メディア情報センターの運営に関する事項

- ◇ 図書館・メディア情報センターの環境整備
 - ・学術的情報を中心とした資料の収集
 - ・図書館でのイベントの企画および実施
 - ・ものづくり大学リポジトリの登録件数の増加を図る

8. 研究等の支援に関する事項

- ◇ 学内研究支援
 - ・学長主導により各種学内プロジェクトを支援(学長裁量費)
- ◇ 戦略的な産官学連携の推進
 - ・社会課題解決型産官学連携の推進と情報発信の強化
 - ・企業の人材育成・確保のニーズに応えるパートナーシップ型産学連携の推進
 - ・産官学連携プラットフォーム構築に向けた提案活動の実施
- ◇ 外部資金の確保
 - ・研究受入管理のためのアプリ開発
 - ・教員の研究テーマ発信強化(展示会等への出展や会報誌への寄稿、パブリシティの強化)
 - ・企業の課題解決に応える技術相談
 - ・科学研究費補助金獲得のための支援
 - ・知的財産の管理および支援
- ◇ その他の研究支援
 - ・不正行為防止、安全保障輸出管理、人を対象とする研究倫理などのリスク管理の実施

9. 情報システムの運用に関する事項

- ◇ 情報システムの稼働および運用
 - ・学内システムの安定稼働のための組織体制改善
 - ・情報セキュリティの高度化とマネジメントの強化および教職員研修の充実
 - ・学内ネットワーク、認証基盤、PC 教室基盤のリプレイスの実施および運用
 - ・事務局ファイルサーバおよび事務支援システムのリプレイスの実施および運用
 - ・コンビニ証明書発行サービスの運用
- ◇ 情報基盤更新
 - ・2024 年 6 月稼働の新ネットワークシステムおよび教育研究システムの運用
- ◇ 学生へのICT支援の推進
 - ・PC サポートコーナー運営の見直しを継続し、学生への支援を推進

10. 施設、設備の管理等に関する事項

- ◇ 施設設備計画部会を中心とした中長期施設設備計画の立案
 - ・設備老朽化問題に向け、支出を抑制した修繕計画マスタープラン 2040 の実施
 - ・施設設備全般の光熱水費にかかるランニングコストの削減計画を検討(施設更新時の仕様に反映)
- ◇ 施設、設備の更新等
 - ・施設の更新(ドームトリ共用部および体育館共用部の空調設備工事)
 - ・設備の更新(学生会館厨房機器、ドームトリ自動火災報知設備)
- ◇ 施設、設備の修繕
 - ・エレベーター、各棟雨漏れ部分補修、浸水防止対策 ほか
- ◇ その他施設設備の管理
 - ・日常点検と定期保守による施設設備の延命化

11. 組織運営に関する事項

- ◇ 学内外に向けた広報活動の計画立案・実施
 - ・デジタルコンテンツの強化
(大学 WEB サイトの改修、オウンドメディア(MonoGram)の運用、SNS の運用、受験生向けサイトの改修など)
 - ・報道機関との関係構築
 - ・ものづくり大学通信による情報発信(年3回)
 - ・学生広報の組織化および支援
 - ・ローカルターゲティング広告の活用による大学 WEB サイトやイベントの集客施策の実施
 - ・オープンキャンパス参加者へのアピール施策の実施
 - ・大学グッズの企画、販売
- ◇ 危機管理委員会を中心とした危機管理に対する取組み
 - ・災害予防対策および緊急時の組織体制を検証する訓練を実施
 - ・法令順守の指導
- ◇ 財務マネジメント室を中心とした大学運営の取組み
 - ・中長期の健全な大学運営のため戦略検討および実施
 - ・財務状況の学内共有化
 - ・補助金獲得にかかる支援

12. 人事・労務に関する事項

- ◇ 人材育成
 - ・適切な人材確保と適材適所の配置の検討
 - ・新入職員への研修実施
 - ・FSD研修会(年4回)のほか、職務遂行能力向上のための研修参加を推進
 - ・業績評価の適正な運用

◇ 労務管理

- ・労働時間の把握と管理の実施
- ・適切な人材確保のための給与体系検討
- ・期末手当、勤勉手当の支給
- ・勤続 20 年報奨金の支給